

昭和
100年
より

今東光と関西文化人たち

昭和30年ごろを中心に

昭和32(1957)年サンケイ新聞連載『テント劇場』中村眞挿画 公開記念

●前期 令和8(2026)年1月10日(土)～5月12日(火)
●後期 令和8(2026)年5月16日(土)～9月13日(日)
～変わりゆく河内平野～今東光『テント劇場』を予定



『テント劇場』今東光/挿画:中村眞



今東光と中村眞 昭和41(1966)年6月(写真提供:中村俊暉)

直木賞作家が残した文芸と八尾の魅力を伝える

今東光 資料館

KON TŌKŌ MUSEUM (八尾図書館3階)

■入館無料 ■開館時間 10:00～17:00

■休館日 月曜日(祝日の場合は開館、但し1月12日は休館)

毎月最終木曜日(但し2月26日は開館)

特別整理期間 2月18日(水)～2月20日(金)

展示替え 5月13日(水)～5月15日(金)

〒581-0003 八尾市本町二丁目2番8号 TEL.072-943-3810

■近鉄大阪線「近鉄八尾駅」から徒歩約7分

■JR大和路線「八尾駅」から徒歩約16分

■Osaka Metro(地下鉄)「八尾南駅」から近鉄バス利用「八尾市役所前」下車



今東光と関西文化人たち ～昭和30年ごろを中心に～



國田彌之輔 画：中村 眞

～昭和29(1954)年5月に、^{くにたやのすけ}國田彌之輔さんを編集長に、今先生を顧問に
月刊華道誌「^{みしょう}未生」が創刊され、翌6月にはサンケイ新聞の文化部美術記者
だった^{ていいち}司馬遼太郎さんが、当時は本名「^{ていいち}福田定一」の名で、華道界について
の所感等を、また今先生は「^{やきあん}夜鬼庵随筆」を、おふたりが毎月交代のような形でエッセイ等を
寄稿してくださいました。他にも「未生」には、^{ちょうかいせいじ}鳥海青児さん、三岸節子さん、八木一夫さんと
いった仲間が参画されています。

昭和31(1956)年には未生に「^{かようたん}花妖譚」として、司馬さんが自筆の挿画入りで短編を発表して
くださるようになり、それらは後年纏められて同タイトルで司馬遼太郎名で刊行され(文春文庫)、
令和元(2019)年の第2刷には、私もその当時のことを少し書かせていただいています。



山本明代(星野かほる)
画：中村 眞

その頃、今先生は司馬さんら主宰の同人雑誌「近代説話」の創刊にも協力し
ておられましたし、大阪の文化の色々なところで、そういった仲間たちが重層
的に関わっていたという感じです。今先生の「テント劇場」の挿画に中村眞
さんを提案したのも國田さんでした。～

(大阪・梅田画廊を経て、30余年「未生」編集長をつとめた山本明代さんの回想)



「未生」第一号(創刊)
昭和29(1954)年5月

「未生」をはじめ、今東光ゆかりの関西文化人の一部(昭和30年代ころ)

